

第11回「ハンガリー旅の思い出」2014年コンテスト作品

福代法子さんの作品

クリスマスシーズンの母娘ブダペスト旅行

昨年の12月19日娘と関西空港からカタール航空を使って、7泊9日のブダペスト旅行をしてきました。

私は、2010年に一度、添乗員付きの「中欧の旅」でブダペストを訪れているのですが、ここはこの旅行の最後の訪問地で、その日の夕方に着いて、一晚ホテルに泊まり翌日の午後にはブダペストの空港にいるという慌ただしいツアーでしたので、見学する所も限られ、もっと滞在したかったというとても残念な思いを抱いて帰国しました。ブダペストには、なぜだか他の町には感じなかった心惹かれるものがありそれ以来ずっと個人でゆっくり訪れたいと願っていました。そこでついに2013年クリスマスシーズンにハンガリーを再訪しようと娘を誘って計画をたてたのです。

飛行機とホテル(国鉄の東駅近くで女2人の旅行ですので危険から遠ざかるためにも、地下鉄Keleti駅のすぐ上にあるゴールデンパークホテル)を予約し観光したい場所を書き出して7泊9日の予定をたてたのでした。ヨーロッパ鉄道の旅もしてみたかったので、中日にはウィーンへの日帰り旅行もおこみしました。

日本で、インターネットから購入したものは

- ・国立オペラ劇場のチケット(オペラ:こうもり バレ:くるみ割り人形)
- ・国会議事堂のガイドツアーのチケット
- ・ブダペスト～ウィーンの往復レイルジェットの予約

(ハンガリーの国鉄のホームページにアクセスして10桁の番号を手に入れました。この10桁の番号を駅にあるe-ticketmachineに入力すると予約した列車のチケットが出てくるという仕組み。)です。

これらを携えて意気揚々とブダペストを目指したのです。やちよこのクレープを食べました。お味は、まあまあといったところでしょうか。

そして夕方には以前のツアーでは叶わなかったドナウのナイトクルーズをしました。

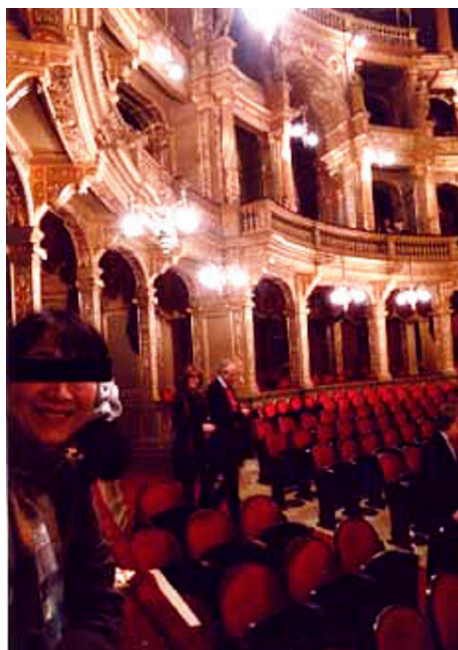
マリオットホテル近くの観光船発着所でPM6:30のチケットを購入して、もうすでに暗くなったドナウ川クルーズに出発したのです。ドナウ川兩岸の灯りがオレンジに輝き幻想的な雰囲気をかもし出していました。特に国会議事堂の灯りと、見上げた王宮のライトアップに大満足でした。その後、ウルシュマルティ広場のクリスマス市場に足を運びました。初めて体験するヨーロッパのクリスマス市はたくさんの地元の方々や観光客でにぎわい、ツリーのオーナメントやつり下げられた電飾が私を夢見心地にさせてくれました。ブログによく紹介されているホットワインを飲んでみたり、焼栗を買ってみたり、、本当に異国のクリスマスを堪能しました。



翌日はまずレヒネルエンデが建てたアールヌーヴォーの傑作郵便貯金局を見学。ドアを入ってすぐの所までは係員が入れてくれましたので中を見学することができました。ベージュの壁にアクセントカラーのうす緑色のコントラストが上品でドアなど嵌め込まれたガラスのチューリップやなでしこなどの花の図柄がなんともかわいらしかったです。



聖イシュトバーン大聖堂では展望台に昇り、360度のブダペストの眺めを満喫しました。お天気も良くて、本当に旅に出かけて来てよかったと思った瞬間でした。そしてその後ゲッレールトの岡を目指しました。デアーク広場辺りの停留所から49番のトラムに乗車、そしてモーリツグモンドで27番バスへと乗り継いでcitadellaに到着です。そこからゆるやかな坂道を登ると目的の丘に着きます。ここからの眺めはもう、ため息ものです。ドナウの流れに映えるオレンジの屋根、くさり橋や国会議事堂などを下に見下ろす一枚の絵ハガキのような景色をしっかりと眼に焼き付けました。この日はPM7からの「こうもり」のオペラ観劇にもでかけました。ハンガリー国立オペラ劇場は噂にたがわず本当に美しかったです。インターネットから入手したチケットを見せて、階段を上がっていくところからもう感動の嵐でした。1FのBOX席を予約していきましたのでここに座って見上げる天井画の美しさ、シャンデリアの煌めき想像以上のものがありました。「こうもり」は歌詞はわかりませんが、あらすじをコピーして持参しましたので内容はなんとなく理解できました。パーティーの場面はとともきらびやかで本当に優雅な夜を過ごせました。



3日目は朝から予約していた国会議事堂のガイドツアーに参加しました。ルネサンス風の建物の中はフレスコ画や金で装飾されていて美しかったです。ハンガリー王の王冠も見ることができました。その後地下鉄M1で英雄広場に行き、西洋美術館を訪れました。あまりにたくさんの絵画が展示されていて正直何を見てきたのかよく覚えていませんので次回行く時には的を絞って見学したいと思いました。地下鉄M1というのは日本のハンガリー紹介のテレビ番組にもよく出てくるのですが、世界で2番目に古い地下鉄だということです。このラインの電車はレトロな雰囲気の黄色で駅名が書いてあるタイル壁はとても趣あるものでした。この後シナゴークにもまわり外観のみでしたが見学シタ方にはオペラ劇場でバレエ、クリスマス定番の「くるみ割り人形」を見に行きました。この日の公演は日本人の中村祥子さんが出ていらして当日知ってびっくりしました。最近日本人のバレエダンサーは世界で活躍されていますが、ブダペストで拝見させて頂けたのは幸運でした。オペラ劇場の美しさと相まって上から雪が落ちてくるシーンは本当にうっとりしてしまいました。この日も素晴らしい夜をすごせました。これからハンガリーに行かれる方には日本でインターネットからオペラやバレエのチケットを取って行かれることをお奨めします。

23日(日)は、1日ウィーン旅行を計画してありました。前日に東駅に寄って「e-ticketmachine」を見つけ、日本で入手してきた10桁の番号をこれに入力すると、本当に下の口からポトンとプリントアウトされたウィーンまでの2人分のチケットが出てきました。チケットが本当に手に入るか少し心配していましたが杞憂におわりました。朝6時5分発の電車でしたのでホテルが東駅のすぐ前というのはとても便利でした。ウィーンを1日楽しんで、ブダペストには午後8時50分くらいに着きました。帰りもすっかり暗くなっていましたがホテルに戻るのに危険な事は何もありませんでした。ヨーロッパ鉄道の旅というのもやってみたかったことのひとつでしたので、この願いも叶えることができました。



24(火)クリスマスイブに中央市場を訪れました。イヴということで公共交通機関は午後2-3時には終わリスーパーやお店も午後2時には終了です。このことに気をつけて行動しました。おみやげになるフェルトの手芸品やカロチャ刺しゅうのレースをたくさん買いこみました。西駅にある世界で一番きれいといわれるマクドナルドにも立ち寄りました。イブのこの日は、レストランも閉まってしまうのでアリーナというショッピングセンター内のテスコで夕食用のパン、生ハム、チーズ、ワインなど買ったのもよい思い出です。

25日(水)は朝からこれも念願だったゲッレールト温泉へ、地下鉄とトラムを乗り継いでドナウ川対岸に出かけました。温泉は36°Cのやら38°Cのやらたくさんの浴槽がありましたが一番気に入ったのはジョルナイタイルのトルコブルーのお風呂でした。ここは熱いくらいの温度でゆっくり日本の温泉気分でつかりましたが他の浴槽は日本人の私にはぬるすぎて真冬というのに全く温まりませんでした。

こうして翌日にはもう帰国日です。この実質6日間のブダペスト滞在中他にもあちこち参りました。王宮方面は2010年のツアーの時にも観光しましたので2回目となりました。漁夫の砦や三位一体の広場を見学しマーチャーシュ教会では教会の鐘の音色が寒空に響いて、思わずビデオモードで撮影しました。アンドラーシ通りの夜景も素晴らしかったです。シャンゼリゼを模して作ったと言われる並木通りはクリスマスのライトアップで幻想的な美しさでした。今でも忘れることができません。リストの銅像のきれいな長い指先を握って記念撮影もしました。ヴァーツィ通りではそぞろ歩きを楽しみたくさんのお店をのぞいて買い物しました。そうそうカフェにも何回か入りました。特に王宮の丘の[ルスヴルム]でいただいたマロンのお菓子[ゲステニエピュレー]はとっておいしかったです。クロアチアから旅行にいらしていた女の

方と合席になって片言の英語でお話したのも良い思い出となりました。ニューヨークパレスのカフェではバロック式の美しい内装を満喫しました。もちろんチョコパフェもゴージャスでした。



旅行中は2人だけであちこち廻りましたので「どのバスに乗ったらいいのか?」「どこで降りたらいいのか?」(あらかじめおおよそのところはインターネットで調べて参りましたが、、、)地元の方に何度も尋ねました。こちらもおおよそ片言の英語で、それも通じない時はジェスチャーでなんとかコミュニケーションをとっていろいろ教えて頂きました。ハンガリーの方は愛想はあまり良くないのですが、話かけてみると親切な方が多かったです。ありがとうハンガリーの皆様。おかげで楽しい旅行ができました。又いつか今回行くことのできなかつた、センテンドレやホッローケー、エゲルの方面にも足を伸ばしてみたいと思っています。待っていてねハンガリー。
